

海外感染症流行情報 2024 年 10 月

(1) 全世界: COVID-19 の流行状況

欧米諸国や日本では 10 月に入り COVID-19 の患者数が減少しています(米国 CDC 24-10-25、ヨーロッパ CDC 24-10-25、厚生労働省 24-10-25)。ウイルスの種類としてはオミクロン株 JN.1 系統の KP.3 型が主流で、同系統の XEC 型も増加傾向にあります(WHO corona 24-10-10)。なお、日本では 10 月から高齢者を対象にした定期接種が始まりました。ワクチンの抗原株は JN.1 系統を用いており、現在の流行株には有効とされています。

(2) 全世界: エムポックスの流行状況

エムポックスの流行状況は、ここ 1 ヶ月で大きな変化はみられていません(WHO Mpox 24-10-25)。重症化しやすい 1 型ウイルスの患者は、コンゴ民主共和国、ブルンジ、ウガンダなどで引き続き発生しています。また、10 月中旬にドイツで 1 型ウイルスの患者が確認されました(ECDC 24-10-25)。この患者はアフリカのルワンダからの帰国者でした。

(3) アジア: 蚊媒介感染症の流行状況

デング熱の患者数は東南アジアで減少傾向にありますが、インドなど南アジアで増加しています(WHO 西太平洋 24-10-17, WHO 南東アジア 24-10-13)。とくにインド南部のカルナータカ州(州都ベンガルール)やケララ州では、患者数が例年よりも増えています。また、インド中部のマハーラーシュトラ州(州都ムンバイ)では、ジカ熱やチクングニア熱の患者数も増えており、ジカ熱はプネでの発生が多くみられます(ProMED 24-10-20, 23)。流行地域に滞在中は蚊の吸血を防ぐ対策を心がけてください。

(4) アフリカ: ルワンダでマールブルグ熱の流行発生

東アフリカのルワンダで、9 月末からマールブルグ熱の流行が発生しています (WHO 24-10-18, 25)。

患者は首都キガリで多く、10 月末までに 64 人の患者が確認され、うち 15 人が死亡しました。10 月中旬以降、新たな患者発生は抑えられています。マールブルグ熱はエボラウイルスに近縁のウイルスで起る出血熱で、患者の体液などから感染します。

(5) ヨーロッパ: 各地で麻疹が流行

今年はヨーロッパ各地で麻疹の患者数が増えています (ECDC 24-10-11)。10 月中旬までにイタリアで 864 人、ドイツで 698 人、英国ではイングランドだけで 2562 人の患者が確認されました。麻疹はアジアやアフリカで流行が拡大していますが、日本での今年の患者数 (10 月中旬までに 32 人) と比較すると、ヨーロッパでも患者数が多いことが分かります。

(6) 北米: 米国で感染経路不明の H5N1 型患者発生

米国で鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの感染者が増えていることを前号で報告しましたが、その後も感染者は増加し、10 月下旬までに 31 人となりました (米国 CDC 24-10-24)。このうち家禽からの感染が 11 人、ウシからの感染が 19 人、不明が 1 人です。ここ 1 ヶ月はカリフォルニア州やワシントン州のウシ農場での感染例が増えており、感染者の症状は結膜炎など軽症とのことです。

(7) 中南米: デング熱の患者数が過去最多

汎米保健機構 (PAHO) の報告によれば、今年の中南米でのデング熱患者数は 1170 万人になり、統計開始以来で過去最多になりました (PAHO 24-10-18)。ブラジルでの患者数が最も多くなっていますが、

最近1ヶ月はメキシコなど中米での患者数が増えています。